

「かけっこ大好き」。園舎に神田山が隣接する長浜南認定こども園ならではの光景です。自然の恵み豊かな環境で子どもたちの健やかな成長をめざしています。(9月1日撮影)



図書館の世界にこの人あり

六夢堂 店主

よしと 明定義人さん(公園町)

長濱八幡宮の門前通り。その一角にある古本と民芸品のお店「六夢堂」でたくさん古書に囲まれ、笑顔で迎えてくれたのは店主の明定義人さん。高月・湖北・浅井・虎姫各図書館の館長を務め、先駆的な取組で「楽しい図書館づくり」を実現してきた図書館業界きってのバイオニアです。

今から29年前、旧高月町に初めてできる図書館の館長として、当時成田市立図書館司書だった明定義人に白羽の矢が立ちました。はじめはとまどったそうですが、「推薦してくれた誰かの期待に応えたい」と引き受け、ゼロからの図書館づくりでめざしたのは住民とともに作り上げる図書館。「僕ができることは1%しかありません。99%は住民の想いで作られるものなので一緒に作り上げたい」と新聞記者の取材に答えたことは今でも覚えているそう。開館当初からコミックや知育玩具の貸出し、広場でのフリーマーケット、巡回学級文庫、学校の本と図書館のネットワーク化など、数々の斬新な取組を進めます。これらはどれも住民の声に応じて実現したも

の。そんな中、不登校の子が一日中館内にいることに気がついた明定義さんは、教育委員会と相談し、館内にOBの教員を配置したフリースクールのような不登校児の居場所を作ります。図書館にあるとは思えないスペースの提供ですが、「それは住民の想いがそこにあったから」と本人は飄々。肩肘張らずに誠実に応えます。「図書館ってそういうことでもできるんだ」という発見をした住民から図書館に対する新たな願いが生まれ、その願いを、豊富な知識と自由な発想で形にしていくな図書館づくりの甲斐あって、高月町立図書館は1人あたりの平均貸出冊数日本一に。『利用者が楽しくて私たちが図書館員も楽しい』図書館づくりができた」と充実感たっぷり振り返ります。

退職後は、今まで出会った本や好きなモノ(民芸品)に新しい出会いの場をと「六夢堂」をオープン。明定義人の好きが詰まった集大成のようなこのお店。「道楽してます。今後も楽しく過ごしたい」と笑う明定義人ですが、挑戦はさらに他の分野にも。「本や民芸の他にも興味があるのは『エコノミックガールディング』。地元で生まれたノウハウで地元の企業を育て、地域経済の活性化に取り組み、そういう機運が長浜で生まれればいいな」と未来を描きます。

図書館の世界から次の世界へ、楽しみながら自由に渡り歩きます。



南中学校

「汗・涙・笑」

南中学校では、伝統のスローガン「汗・涙・笑」を大切に、「進んで学ぶ生徒、思いやりのある生徒、たくましく生きる生徒」の育成に努めています。

「汗」は何事も一所懸命に取り組める生徒。「涙」は感動・感謝がでる生徒。「笑」は優しさ・思いやりの心を持つ生徒。それぞれの言葉に願いを込めて、日々の教育活動に取り組んでいます。

生徒たちもこのスローガンを合言葉に、日々の授業や部活動、行事等での学びや人とのつながりを通して、豊かな人間関係や生きる力を育んでいます。

次に南中生徒会の活動を紹介します。

生徒会の取組みの一つに「あいさつ運動」があります。



▲南中スローガン

長浜子どものちかい～わたしたちはちかいます～

- 元気にあいさつをします
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 困っている人がいたら言葉をかけます
- 人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章～おとなが実践します～

- 子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます



学校・教育関係の情報が満載

▲市教育委員会フェイスブック



▲あいさつ運動

生徒会執行部が毎朝、昇降口で元気な声を出して取り組んでいます。登校する生徒からも笑顔で爽やかなあいさつが返ってきます。南中が誇る学校生活の一場面です。

また、生徒会では、今年発生した令和2年7月豪雨災害「に対して、義援金を募る活動に取り組みました。この活動を通して、生徒はもちろん、多くの保護者や教職員からも協力を得ることができました。こうした生徒会の力が、南中を動かす原動力となっていました。

今後も保護者や地域の人々の協力を得ながら未来の長浜を担う生徒の育成に努めたいと考えています。

長浜市の情報をスマホでチェック

長浜市 ホームページ	Facebook 長浜市ほっとにゅ～す	Facebook 長浜市教育委員会	Instagram ＃長浜ちよびつく	YouTube はま～るtb.	広報紙をスマホで マチイロ	イベント情報を配信 LINE

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けしているほか、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパー、診療所などにも置いています。また、市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。声の広報も作成していますので、ご希望の場合は市民広報課まで。